

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

- [25722] スチリペントール

#### 受託開始日

- 平成24年12月17日(月)

# スチリペントール

Dravet症候群は乳児重症ミオクローンてんかんとも呼ばれる乳児期に発症する代表的な難治てんかんです。発熱などの体温上昇に伴い、てんかん重積状態が頻発し、幼児期にはミオクローン発作も出現します。幼児期早期までは発達は正常ですが、その後しだいに発達が退行し、重度の知的障害を呈するとされます。また、既存の抗てんかん薬では、けいれん発作が抑制されにくい重篤な疾患です。

スチリペントールは、脳の主要な抑制性神経伝達物質であるγアミノ酪酸(GABA)のシグナル伝達を増強することで、抗てんかん作用を発揮する薬剤です。また、本剤は、チトクロームP450アイソザイムに対する阻害作用も有しており、これらにより代謝される併用薬の効果増強も報告されています。

本剤は、2007年に欧州でDravet症候群の治療薬として承認され、国内でも今年クロバザム及びバルプロ酸ナトリウムで十分な効果が認められないDravet症候群患者における間代発作又は強直間代発作に対する併用薬として適用承認が得られました。

本剤は、代謝経路が複雑で、非線形性の薬物動態を示すため、投薬時の血中濃度管理が重要とされています。

## 検査要項

項目コード	25722
検査項目名	スチリペントール
検体及び保存方法	EDTA血漿 <sup>*1</sup> または血清 <sup>*2</sup> 0.3mL (凍結)
検査方法	LC-MS/MS法
有効治療濃度	(設定なし) μg/mL
所要日数	3~5日
管理料	470点(B001-2 特定薬剤治療管理料)
主な商品名	ディアコミット <sup>®</sup>
備考	<p>■検体採取方法について</p> <p>※1：採血管(容器番号14番)にて採血後、転倒混和により攪拌。さらに遠心にて血球成分と血漿成分を分離後、血漿成分のみを提出用容器(容器番号2番)に移し、凍結の上でご提出下さい。</p> <p>※2：血清での受託も可能ですが、分離剤入り採血管を使用しないで下さい。測定値が分離剤の影響を受ける場合があります。</p> <p>■特定薬剤治療管理料について</p> <p>通知：</p> <p>(1) 特定薬剤治療管理料は、下記のものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。</p> <p>イ. てんかん患者であって抗てんかん剤を投与しているもの。</p>

## 参考文献

Fisher J L, *Epilepsia*, 52 (Suppl.2) : 76~78, 2011.